

X会議での指摘事項一覧(いずれの指摘事項も検討結果(取り組みの有無・内容)を明らかにする)

No.	回	議題	指摘事項の内容	取組状況	完了
1	第1回(7月)	視察の振り返り (桃園公園)	こどもまんなか宣言をしているのであれば、テニスコートや野球場の整備よりも、子どもの意見であるトイレ・水飲み場・ベンチの整備を優先すべき。	経営分析「公園事業」で検討中(令和6年度末まで)	
2	第1回(7月)	視察の振り返り (元気のもり)	ワークコーナー終了後の掲示は「15時で終わりました」ではなく、「明日10時からまた来てね」とすべき。	実施済み	●
3	第1回(7月)	「ユーザー目線を踏まえた市政変革の進め方(いのちのたび博物館)」	出てきた課題については、できること・できたことだけではなく、全て見える化すること。	ワーキングチームによる施設の点検を行い、すぐにできること(案内表示の修正など)については着手済み。今後も引き続き改善に取り組む。また、利用者ヒアリングを実施し、現在、課題を洗い出している。	
4	第1回(7月)	経営分析の経過報告	Cレベルの課題については、都市計画的な目線も含め、土地とお金を管理する専門の局を新しく作るなど、集中的に取り組む体制を作るべき。	未着手	
5	第1回(7月)	経営分析の経過報告(公園)	現在の1,700公園は、拡大しすぎているのではないか。データを含め見直す必要がある。	経営分析「公園事業」で検討中(令和6年度末まで)	
6	第1回(7月)	経営分析の経過報告(公園)	公園の管理は、10年後も公園愛護会を前提として本当に大丈夫なのか、真剣に考える必要がある。	経営分析「公園事業」で検討中(令和6年度末まで)	
7	第1回(7月)	経営分析の経過報告(公園)	直営による公園管理は根本的に時代遅れ。外郭団体やNPO等が全体をみてくれるような体制づくりや、区役所への分権化を考えるべき。	経営分析「公園事業」で検討中(令和6年度末まで)	
8	第1回(7月)	経営分析の経過報告(子育て支援)	民営ですごくかっこいい子育て施設を運営しているNPOや、ベンチャー企業の力を借りるべき。	経営分析「子育て支援」で検討中(令和6年度末まで)	
9	第2回(8月)	冒頭あいさつ	文化施設については、現状維持ではなく資源の配分をどう考えるのが良いか、本当に楽しさを与えるラストワンマイルの持っていく方をどうするのか、運営主体をどうしていくのか考える必要がある。	経営分析「文化振興施策」で他都市視察や調査を実施するなど、適切な運営方法を検討中(令和6年度末まで)。	
10	第2回(8月)	経営分析	Bは中期でCは長期というのはおかしい。ぱっとし決めれば3年で出来てしまうCはいっぱいある。これでは難しい課題はすべて5年先に先延ばしになってしまう。事務局のガイダンスが間違っている。	A、B、Cの定義も改めて事務局で整理して周知した。	
11	第2回(8月)	経営分析(文化振興施策)	やってはいけないことを全部並べている文化施設は全国的にもない。20年前で時間が止まっている。他都市の施設等を見に行つて考えるべき。	禁止事項の精査や表現方法の変更など、案内表示板の改善に取り組んでいる。他都市施設の視察も実施済み。	●
12	第2回(8月)	経営分析(文化振興施策)	美術館のメインのところにアマチュアの方の展示会の案内があるのは珍しい。ビジュアルやメッセージの出し方として如何か。美観の問題として、監視員が毛布を置いたままお手洗いにいくとか、注意してほしい。	市民芸術祭は市の共催事業であり、今後も本館で実施予定であるが、看板等の掲出は館の雰囲気や損なわないよう団体と相談して次回より改善する。監視員のひざ掛けについては、離席時にはイス下のBOXに収納するよう改善を行った。	●
13	第2回(8月)	経営分析(文化振興施策)	市の施設はどこもチラシがめっちゃ多い。美観と利便性を考えて総点検する必要がある。	文化施設、環境施設、子育て施設において点検を実施し、改善するべきところを洗い出し、チラシのジャンル分け、集約、チラシ置き場の変更など、文化施設、環境施設、子育て施設において実施済み。	
14	第2回(8月)	経営分析(文化振興施策)	政令市クラスでミュージアムを全部直営でしている都市は多分ない。事務職員の数がすごく多く、合理化・集約化・民間委託等の選択肢を検討すべき。	経営分析「文化振興施策」で他都市視察や調査を実施するなど、適切な運営方法を検討中(令和6年度末まで)。	
15	第2回(8月)	経営分析(文化振興施策)	複数局が様々なミュージアムを所管している。縦割りをやめ、市のミュージアム全体のあり方を考えるべき。	経営分析をはじめとした市政変革の取組の中で検討中。	
16	第2回(8月)	経営分析(文化振興施策)	ホールについては、一般市民が利用する施設は、地元サービス施設と同じようなものとして、地域住民やボランティアなど地域に返していくべき。	経営分析「文化振興施策」でホール利用状況の分析や他都市調査を実施するなど、適切な仕組みを検討中(令和6年度末まで)。	

No.	回	議題	指摘事項の内容	取組状況	完了
17	第2回(8月)	経営分析(文化振興施策)	文化施設がすごく多い。特にミュージアムが多い。はたしてたくさん施設がこの人口で必要なのか考えるべき。他都市と比べて多くないという資料があったが、精査する必要がある。大都市は民間ミュージアムが多いという特殊事情もある。	経営分析「文化振興施策」でミュージアムの効果的かつ効率的な運営方法を検討中(令和6年度末まで)。	
18	第2回(8月)	経営分析(文化振興施策)	サイエンス・環境系のミュージアムは中身が古いと意味がない。アップデートする余裕がないのであれば、廃止や用途転換すべき。	経営分析「文化振興施策」・「環境政策」で検討を進め、科学館については、他都市視察や調査を実施するなど、適切な運営方法を検討中(令和6年度末まで)。	
19	第2回(8月)	経営分析(文化振興施策)	専門家を入れた財団や独立行政法人でスキルを磨いて運営すべき。直営原則が果たして良いのか。直営維持自体が異例なので、直営維持するならば説明責任がある。	経営分析「文化振興施策」で他都市視察や調査、直営館の強みの精査を実施するなど、運営方法を検討中(令和6年度末まで)。	
20	第2回(8月)	経営分析(文化振興施策)	直営は、条例・規則・予算(財源)などの縛りがあり、百害あって一利なし。国立も大阪市も独立行政法人化している。今風にならないといけない。	経営分析「文化振興施策」で他都市視察や調査を実施するなど、適切な運営方法を検討中(令和6年度末まで)。	
21	第2回(8月)	プラチナ市役所プロジェクト	具体的に何を变えるかにコミットして欲しい。例えば、救急隊が夏の暑い中、コンビニ利用すら認められていないのは、すぐに認められるようにしてもらいたい。	救急隊員がコンビニエンスストアを利用することにより、他の利用客や関係者に感染症等の不安を抱かせないよう、利用する際の留意点を整理し、コンビニエンスストア関係者等と協議のうえ救急隊に周知した。また、救急隊のコンビニエンスストアの利用について、市民から誤解されることがないように、市ホームページやSNSで広報している。	●
22	第2回(8月)	プラチナ市役所プロジェクト	電子決裁を紙で印刷して回しているといった煩雑になったものは、ぜひコミットして改善してほしい。	文書管理システムの使い勝手が悪いという意見があったことから、電子決裁率向上のため、3か年かけて文書管理システムの改修を行った。決裁の進捗状況のメールでの通知機能や添付ファイルの一括ダウンロード機能等の改修の概要を周知した。また、電子決裁推進要領(再訂版)にて紙でしか決裁できないものを列記し、それ以外は全て電子決裁を行うものとして整理した(R5.9月発出)。これらについては、改めて令和6年11月に周知を行った。	●
23	第2回(8月)	プラチナ市役所プロジェクト	問題の真因はどこにあり、どこが課題なのかをもう少し検討し、取捨選択すべき。	第2回X会議終了後、各プロジェクトチームにおいて、あらためて職員アンケート結果等の再確認や課題の深堀を行い、制度所管局に提案する課題の取捨選択あるいは追加を行った。	●
24	第2回(8月)	経営分析「公共投資」	今ある施設を全部持ち続けるのか。廃止や用途転換、民間売却などでボリュームを下げれば、公共投資のあり方の議論自体いらなくなるのではないかな。	施設のあり方検討に向けて経営分析「公共投資」「公共施設マネジメント」で検討中	
25	第2回(8月)	経営分析「公共投資」	人口獲得競争の中で、市としての競争力をつけるため、子育て系の施設など新たに何か作る施設の議論もしなくては行けない。	施設のあり方検討に向けて経営分析「公共投資」「公共施設マネジメント」で検討中	
26	第2回(8月)	経営分析「公共投資」	市債の残高以前に、公債費の支払いや現金ベースで結構しんどくなるということがあるかもしれないので、その分析を加えてほしい。	経営分析「公共投資」で検討中(令和7年度当初予算案公表まで)	
27	第2回(8月)	漫画ミュージアムにおける施設点検・ヒアリングの実施状況報告	アンケート数がもう少し欲しい。期間をかけてもう少しやれば出てくる。	継続してヒアリング調査を実施する。	●
28	第2回(8月)	漫画ミュージアムにおける施設点検・ヒアリングの実施状況報告	アンケートでは「暑い」という声が一番多かったので、すぐ対策してほしい。	対応済み	●
29	第2回(8月)	漫画ミュージアムにおける施設点検・ヒアリングの実施状況報告	ヒアリング実施結果として性別や年齢、居住地、来館回数等いろいろな属性を把握していると思うので、属性別にどんな意見が出たかというものを分析し、今後ターゲットをどうしていくかとか、どのあたりに力を入れていくかを視野に入れた分析をしてほしい。	ワーキンググループで、ヒアリング結果やチェックリストをもとに課題を洗い出した。施設改善については、対応を検討中。	●
30	第2回(8月)	漫画ミュージアムにおける施設点検・ヒアリングの実施状況報告	この取組みを、環境系や子育て関連の施設でも進めてほしい。	対応済み	●
31	第2回(8月)	漫画ミュージアムにおける施設点検・ヒアリングの実施状況報告	「幾らだったら満足しますか」という、逆に言うと、「もっと高くても良いと思いますか」みたいな、その種の掘り下げも本当はした方がよい。安すぎると思ひすぎるという問題もある。	他の文化施設でのヒアリング時に、料金設定の質問については、工夫して聞き取るように進めている。	

No.	回	議題	指摘事項の内容	取組状況	完了
32	第2回(8月)	講評(文化施設)	漫画ミュージアムは、都市のあるべき姿に対してどういうコミットをしているのかといった、全く別の観点から評価してほしい。	経営分析「文化振興施策」で他都市視察や調査を実施するなど、適切な運営方法を検討中(令和6年度末まで)。	
33	第2回(8月)	講評(文化施設)	館の運営主体だけでなく、利用者がお互い不快にならないようにするにはどのような施設運営をするべきなのか考える必要がある。	施設の点検を踏まえたワーキンググループでの活動などを含めて、経営分析「文化振興施策」で検討中(令和6年度末まで)。	
34	第2回(8月)	講評(文化施設)	すぐやろうと思えばできることがなぜ今までできていなかったのか、ちゃんと精査する必要がある。	対応済み (利用者目線での点検ができておらず、問題点を認識できていなかったからだとしてとらえている)	●
35	第2回(8月)	講評(文化施設)	どういった施設運営をすれば来場者の満足度が高まるか、組織体系や運営統治、インセンティブや処遇など構造的に検討する必要がある。	経営分析「文化振興施策」で利用状況の実態把握や他都市視察や調査を実施するなど、適切な運営方法を検討中(令和6年度末まで)。	
36	第2回(8月)	講評(プラチナ市役所プロジェクト)	A, B, Cに分類し、優先順位をつけてなにをやるのか、所管局としっかり調整してほしい。	第2回X会議終了後、事務局において課題をA, B, Cに分類した。あわせて、プロジェクトチームにおいても課題や解決策に優先順位をつけ、制度所管局に対して、メリハリつけた提案を行った。	●
37	第3回(10月)	X会議の指摘された事項と対応状況	「対応」という言葉が受け身でよくない。そもそも自ら改革するのがX会議である。フォーマットを変えたらどうか。また、具体的な指摘に関しては、具体的に「やった」「やらない」をきちんと書くこと。	「対応状況」としていた項目名は「取組状況」とし、具体的な指摘事項等に対し、具体的な内容で取組状況を報告するようフォーマットを修正した。 また、あらためて過去の会議録を再確認し、指摘事項等の追加を行った。	●
38	第3回(10月)	経営分析「公共施設マネジメント」	施設所管局でどこをどうしたいという最適化の形を提案し、それを改革部門がしっかりサポートしながら方向性がずれないようにナビゲートし、どんどん個別論を出していったほしい。	施設所管局において点検に着手。点検にあたっては、市政変革推進室が各施設の関係データを整理するなどサポートを行いながら実施中。	
39	第3回(10月)	経営分析「公共施設マネジメント」	利用者と市民全体の違いをどう捉えるのか、一生懸命一つ考えないといけない。	施設所管局において点検に着手。利用者と市民全体の視点の違いを踏まえた点検を、市政変革推進室がサポートを行いながら実施中。	
40	第3回(10月)	経営分析「公共施設マネジメント」	各局長は、所管している施設について責任を持って変えていくことをX方針に書き加えるべき。	X方針の修正・追加作業を実施。	●
41	第3回(10月)	経営分析「公共施設マネジメント」	5市対等合併やいわゆる迷惑施設の設置の経緯、それぞれの区の特性を踏まえて具体化すべき。	施設所管局において点検に着手。施設の設置経緯や、区の特性等の視点を踏まえた点検を、市政変革推進室がサポートを行いながら実施。	
42	第3回(10月)	経営分析「公共施設マネジメント」	施設の多機能化だけでなく、役割の明確化を行うことも大事。例えばスポーツ施設では稼ぐための施設と地域で日常的に使うための施設。	施設所管局において点検に着手。施設の多機能化や役割の明確化等の視点を踏まえた点検を、市政変革推進室がサポートを行いながら実施中。	
43	第3回(10月)	経営分析「公共施設マネジメント」	他局の施設に機能を移管すれば自局の施設は廃止するという、互いに他局に期待しがちであり、誰かが調整する必要。	市政変革推進室がサポートを行いながら、施設所管局において点検を実施中。 各局から提出された提案については、今後、関係部局の連携を踏まえた協議を行う。	
44	第3回(10月)	経営分析「公共施設マネジメント」	稼ぐための施設は新たな時代にあった施設に置き換えていく必要。その際、民間の活力を生かすことを責任持ってやる部署がないと実際に動かすのは非常に難しい。	組織のあり方について令和7年4月組織編成に向け検討中。	
45	第3回(10月)	経営分析「公共施設マネジメント」	小学校区単位の市民センター・まちづくり協議会の設置が学校統廃合等で崩れてきたときに、地域をどう考えるか、そして地域の拠点施設の在り方を誰かが総合的に考える必要がある。	地域の拠点施設の在り方をどういう体制で検討するか、令和6年12月から1月までに整理する。	
46	第3回(10月)	経営分析「公共施設マネジメント」	例えば、「耐用年数が10年以内の施設はそのまま建て替えることはしない」というサンセット原則を決めた方がよい。	施設のあり方検討に向けて、施設の老朽度や、利用者数、収支等の視点に着目し、点検を実施。	●
47	第3回(10月)	経営分析「公共施設マネジメント」	上記に該当する施設は、今回のチェックリストとは別に「年内に方針を決めて下さい」と宿題を出さないでキャッチボールにならない。古いもの、人が来ていないものはとにかくリストに載せることは年内に終えてはどうか。	今年度経営分析を実施している事業にかかる施設について先行して点検に着手。年内に点検を完了する予定。その他の施設についても、先行施設の進捗に応じて順次着手する。	
48	第3回(10月)	経営分析「公共施設マネジメント」	公園も今回の報告と同じようなやり方で検討を進めた方がよい。	経営分析「公園事業」で検討中(令和6年度末まで)	
49	第3回(10月)	経営分析「公共施設マネジメント」	美術館や卸売市場など市に1つしかないものは事業分析で検討した方がよい。図書館や公民館など、どの市にもあり市内に複数あるものが今回の進め方に向いている。	すべての施設を対象に点検を実施。 美術館等については併せて経営分析を実施中。	●

No.	回	議題	指摘事項の内容	取組状況	完了
50	第3回(10月)	経営分析「公共施設マネジメント」	検討は「誰が」「いつ」を明確にする必要がある。	施設所管局において点検に着手。点検にあたっては、市政変革推進室が各施設の関係データを整理するなどサポートしながら実施中今年度経営分析を実施している事業については、年内に点検完了予定。	●
51	第3回(10月)	経営分析「公共施設マネジメント」	民間のノウハウの活用には、他地域の事例を権限ある人間が見に行く、民間企業にアポイントを取って営業するなど、外にでていく活動を市役所内で共有しつつ広げるべき。	各分野において、他都市事例等の視察を実施。引き続き、施設のあり方の検討に向けて、他都市事例研究とあわせて民間企業の営業などを進めていく。	
52	第3回(10月)	経営分析「公共施設マネジメント」	スケジュールを幾つかに仕分け、先にこれをするというのを決めないと半年、1年経ってしまう。しっかりスケジュールを組んでいきたい。	今年度経営分析を実施している事業にかかる施設について先行して点検に着手。年内に点検を完了する。その他の施設についても、先行施設の進捗に応じて順次着手する。	●
53	第3回(10月)	経営分析「公共施設マネジメント」	優先して検討する施設のピックアップは市政変革推進室がやらないといけない。	今年度経営分析を実施している事業にかかる施設について先行して点検に着手。年内に点検を完了する。その他の施設についても、先行施設の進捗に応じて順次着手する。	●
54	第3回(10月)	経営分析「公共施設マネジメント」	チェックリストはバージョンを用意する必要。その際も施設所管局とよくコミュニケーションをとって市政変革推進室が引っ張る必要がある。	施設所管局において点検に着手。点検にあたっては、市政変革推進室が各施設の関係データを整理するなどサポートしながら実施中。	●
55	第3回(10月)	経営分析「公共施設マネジメント」	市政変革推進室と財務部の協調によって各局に施設のチェックの手順・スケジュールが予算に直結することを浸透させていく必要がある。	施設所管局において点検に着手。点検にあたっては、市政変革推進室が各施設の予算や、将来必要となる費用などのデータを示しながら実施中。	●
56	第3回(10月)	経営分析「公共施設マネジメント」	どれくらいの面積の集約が可能なのか、各局を巻き込んでの目標設定と、その目標で財政が立ちいくのかのやり取りが重要。	各施設の点検後その状況を集約し、市の財政状況と照らし合わせた上で、目標設定の有無・設定内容を検討する。	
57	第3回(10月)	経営分析「公共施設マネジメント」	耐用年数の到来を待つことなく検討するには、施設を保有するだけで「これだけのお金がかかる」「こんな弊害がある」ということを整理すべき。	各施設における将来必要となる費用の試算結果を示しながら点検を実施中。	●
58	第3回(10月)	経営分析「公共施設マネジメント」	チェックリストでチェックし始めると、それに没入して本質を見逃しかねない。チェック後に現場を見る、現場の声を聞く、すりあわせていくという作業が非常に大事であり、後々の納得度に繋がる。	施設所管局において点検に着手。点検にあたっては、市政変革推進室が各施設の関係データを整理するなどサポートしながら実施中。	
59	第3回(10月)	経営分析「公民連携体制(外郭団体)」	状況変化に合わせ、直営、民間に頼む、頼み先がなければ自ら団体を作って人を他所から呼んでくると、役所の仕事の仕方・組み立て方を考え直す必要がある。	X会議資料P16今後のスケジュール(予定)に記載の「団体の役割の再定義(官団民の役割分担、団体活用の考え方など)」を行う際に検討(今年度中)	
60	第3回(10月)	経営分析「公民連携体制(外郭団体)」	外郭団体の仕事の仕方はガラツと変えないといけない。一番大事なのは専門性をもった人材。民間から取る場合も全国から専門ノウハウを持った人を探し、例えば劇場や公園などにプロを入れていく。	X会議資料P16今後のスケジュール(予定)に記載の「団体の役割の再定義(官団民の役割分担、団体活用の考え方など)」を行う際に検討(今年度中)	
61	第3回(10月)	経営分析「公民連携体制(外郭団体)」	都庁の場合は、子会社みたいなものを作って、役所の仕事の受け皿、外郭団体を再構築していった。	X会議資料P16今後のスケジュール(予定)に記載の「改革の方向性の検討(外郭団体の役割・機能の明確化)」を行う際に検討(R7.1まで)	
62	第3回(10月)	経営分析「公民連携体制(外郭団体)」	外郭団体に役所のOBが行ってもいいが、その分野を経験したことのない人は問題外。	X会議資料P16今後のスケジュール(予定)に記載の「政策実行のための団体機能強化の実施」を行う際に検討(今年度中)	
63	第3回(10月)	経営分析「公民連携体制(外郭団体)」	外郭団体のガバナンスが緩い。理事会が年2回から4回というのは企業では考えられない。また、戦略的な議題もほぼなく、役員会として機能していない。	X会議資料P16今後のスケジュール(予定)に記載の「団体の役割の再定義(官団民の役割分担、団体活用の考え方など)」を行う際に検討(今年度中)	
64	第3回(10月)	経営分析「公民連携体制(外郭団体)」	理事会に過半数の民間企業経験者を入れて喝を入れる。常勤だと処遇や適材が見当たるかの問題があるが、非常勤であれば結構入れることができる。経営ガバナンスという視点であれば、他の分野の民間経験者でも十分機能する。理事の数を増やし、過半数が民間の人になると理事会の空気が変わってくる。	X会議資料P16今後のスケジュール(予定)に記載の「団体の役割の再定義(官団民の役割分担、団体活用の考え方など)」を行う際に検討(今年度中)	
65	第3回(10月)	経営分析「公民連携体制(外郭団体)」	外郭団体は市役所の外の仕事を積極的に取りに行く。他都市にサービスを提供して収益を得る。株式会社については目指した方がいい。	X会議資料P16今後のスケジュール(予定)に記載の「団体の役割の再定義(官団民の役割分担、団体活用の考え方など)」を行う際に検討(今年度中)	
66	第3回(10月)	経営分析「公民連携体制(外郭団体)」	外郭団体のうち、劇場や公園などについては、北九州市のブランドや信用、大きな規模の仕事ができるなどをもっとアピールし、人材を集めるべき。	X会議資料P16今後のスケジュール(予定)に記載の「政策実行のための団体機能強化の実施」を行う際に検討(R7.4以降)	
67	第3回(10月)	経営分析「公民連携体制(外郭団体)」	外郭団体の新設を言い出せる雰囲気ではないのは分かるが、スクラップや統合をしながら、必要なものは作ればよい。一方、役割を終えたもの、もう要らないものは潰してしまう。	X会議資料P16今後のスケジュール(予定)に記載の「団体の役割の再定義(官団民の役割分担、団体活用の考え方など)」を行う際に検討(今年度中)	

No.	回	議題	指摘事項の内容	取組状況	完了
68	第3回(10月)	経営分析「公民連携体制(外郭団体)」	外郭団体側から「こういうことができる。こういうことをしたい」と市にほとんど言ってこない状況。「市にはないこういう力・ノウハウがあるのではないか」、市役所側が団体をガイドしていないといけない。	X会議資料P16今後のスケジュール(予定)に記載の「政策実行のための団体機能強化の実施」を行う際に検討(R7.4以降)	
69	第3回(10月)	経営分析「公民連携体制(外郭団体)」	民間の人材をトップに据えるルールが明確化していない。民間人材や理事長の報酬を業績に応じて変動させるなど、ルールをもう1回作り直さないと機動的な運営ができない。	X会議資料P16今後のスケジュール(予定)に記載の「団体の役割の再定義(官団民の役割分担、団体活用の考え方など)」を行う際に検討(今年度中)	
70	第3回(10月)	経営分析「公民連携体制(外郭団体)」	期待値が高い外郭団体等に市の幹部候補生のような若い管理職を送り込んで、実際に団体の中に入って、市役所の目で団体の強みを整理することが必要。また、その市の職員に団体が稼ぐ・役割を果たす上でこうあるべきと中から改革する経験をその積んでもらう。逆に団体プロパーの専門職の人たちを部長にし、市役所に1・2年出向して議会等について学んでまた団体に戻るなど。	X会議資料P16今後のスケジュール(予定)に記載の「政策実行のための団体機能強化の実施」を行う際に検討(R7.4以降)	
71	第3回(10月)	経営分析「公民連携体制(外郭団体)」	外郭団体の評価表について、令和3年までは評価結果の開示があったが、令和4年と5年は計画のみ開示となっている。	HP更新済み(11月28日)	●
72	第3回(10月)	経営分析「公民連携体制(外郭団体)」	ガバナンスについて外郭団体の裁量権が中々ない。裁量権を持たせることで随分変わる要素がある。	X会議資料P16今後のスケジュール(予定)に記載の「改革の方向性の検討(外郭団体の役割・機能の明確化)」を行う際に検討(R7.1)	
73	第4回(11月)	ブラチナ市役所プロジェクト	「△検討を要する」課題については、検討結果をマネージすること。	「△検討を要する」及び「×解決できない課題」については、市政変革推進室において代替策の検討や他都市事例の研究など必要な検討項目を付記し、制度所管局に再検討するよう通知した(12月)。また、制度所管局の検討に伴走支援を行っている。再検討の結果は、令和7年1月の第6回X会議で公表予定。	
74	第4回(11月)	ブラチナ市役所プロジェクト	「×解決できない課題」は、相手の本当に困っている気持ちに寄り添っていない。根源の課題に応える別のアプローチはできないか考えてほしい。市政変革推進室も少しナビゲートしてあげてほしい。	「△検討を要する」及び「×解決できない課題」については、市政変革推進室において代替策の検討や他都市事例の研究など必要な検討項目を付記し、制度所管局に再検討するよう通知した(12月)。また、制度所管局の検討に伴走支援を行っている。再検討の結果は、令和7年1月の第6回X会議で公表予定。	
75	第4回(11月)	ブラチナ市役所プロジェクト	「×解決できない課題」は玉石混交で、直感で当然だと思うものでも、市政変革推進室で深掘りが甘くないか詰めたほうがいい。よく分析してほしい。	「△検討を要する」及び「×解決できない課題」については、市政変革推進室において代替策の検討や他都市事例の研究など必要な検討項目を付記し、制度所管局に再検討するよう通知した(12月)。また、制度所管局の検討に伴走支援を行っている。再検討の結果は、令和7年1月の第6回X会議で公表予定。	
76	第4回(11月)	ブラチナ市役所プロジェクト	「×解決できない課題」は、一旦全部差し戻し。全然議論が足りていない。システム部門のやる気のなさが非常によくわかる。何もできないなんて回答にならない。	「△検討を要する」及び「×解決できない課題」については、市政変革推進室において代替策の検討や他都市事例の研究など必要な検討項目を付記し、制度所管局に再検討するよう通知した(12月)。また、制度所管局の検討に伴走支援を行っている。再検討の結果は、令和7年1月の第6回X会議で公表予定。	
77	第4回(11月)	ブラチナ市役所プロジェクト	「×解決できない課題」で、法令上ダメというものは、他の自治体はどうやっているのかくらいは最低限調べるべき。本当にダメだという理由が書けていない。	「△検討を要する」及び「×解決できない課題」については、市政変革推進室において代替策の検討や他都市事例の研究など必要な検討項目を付記し、制度所管局に再検討するよう通知した(12月)。また、制度所管局の検討に伴走支援を行っている。再検討の結果は、令和7年1月の第6回X会議で公表予定。	
78	第4回(11月)	ブラチナ市役所プロジェクト	電子公印システムはできないと言っているが、ある程度やっているところもあるので、もう一回洗い直すこと。	市政変革推進室からの依頼に基づき再検討中。1月のX会議で検討結果を示す予定。	
79	第4回(11月)	ブラチナ市役所プロジェクト	これから変更されていく100近いポイント(◎、○の解決される課題)について、全職員に前向きに広報・告知してほしい。	課題が解決されたものから逐次、職員用イントラネットで周知していく。また、市ホームページにも全件掲載し、市民向けの広報も行う。	
80	第4回(11月)	ブラチナ市役所プロジェクト	「△検討を要する」課題のフォローは、検討の期限を決めること。とにかく「順次」はやめたほうがいい。	「△検討を要する」及び「×解決できない課題」について行っている再検討作業において、今後のスケジュールを明確に示すこととしている。	
81	第4回(11月)	ブラチナ市役所プロジェクト	「○代替策もしくは予算次第で課題を解決」が一番問題。本当は2〜3割しかできていないというものもいっぱいある。このフォローアップが一番大切なのでよろしく願いたい。	「○代替策もしくは予算次第で課題を解決」となっているものについては、解決策が実行されたかどうかのフォローと、その解決策(代替策)が課題の解決に繋がったかのフォローを行うこととする。	
82	第4回(11月)	ブラチナ市役所プロジェクト(討議①週休3日制等)	育児や介護との両立が難しいということは切実な声。ぜひ部分的な導入をまず早めにやってみよう。その中でトライアルしながらどのくらい広げられるか考えていきたい。	市政変革推進室からの依頼に基づき再検討中。1月のX会議で検討結果を示す予定。	

No.	回	議題	指摘事項の内容	取組状況	完了
83	第4回(11月)	ブラチナ市役所プロジェクト(討議②女性用トイレ)	女性用トイレを改修して欲しいという切なる気持ちは非常によく理解できるので、前向きにやって欲しい。一方で、様々な老朽化に伴う使いづらさがある。この建物をいつまで使い続けるのかという全体感を持ちながら検討する必要がある。	市政変革推進室からの依頼に基づき再検討中。1月のX会議で検討結果を示す予定。	
84	第4回(11月)	ブラチナ市役所プロジェクト(討議②女性用トイレ)	今は、トイレの改修は、ブース内に更衣室を設けるなど如何様にもできる。	市政変革推進室からの依頼に基づき再検討中。1月のX会議で検討結果を示す予定。	
85	第4回(11月)	ブラチナ市役所プロジェクト(討議②女性用トイレ)	働く上でのインフラがどうい状況なのか「見える化」し、優先順位をコストとセットで、働き続ける上で必要不可欠なところからやっていくという整理が必要。	市政変革推進室からの依頼に基づき再検討中。1月のX会議で検討結果を示す予定。	
86	第4回(11月)	ブラチナ市役所プロジェクト(討議②女性用トイレ)	女性用トイレは切迫した問題だと思っている。全体を考えるために足を止めることなく、検討を強力に進めてほしい。	市政変革推進室からの依頼に基づき再検討中。1月のX会議で検討結果を示す予定。	
87	第4回(11月)	ブラチナ市役所プロジェクト(討議②女性用トイレ)	総務市民局と各局の役割分担と検討スケジュール(工程)を明示してほしい。また、財政・変革局と、どういお金がかかるのか整理して教えてほしい。	市政変革推進室からの依頼に基づき再検討中。1月のX会議で検討結果を示す予定。	
88	第4回(11月)	ブラチナ市役所プロジェクト(討議③災害対応)	できるところはそれによって、それ以外のところは別のやり方を考えると多分解決すると思う。昭和53年の渇水時の水道局の事例をよく調べてほしい。	現在他都市調査や、各区ヒアリング、避難所と居住地の分布調査を実施し、令和7年1月中旬に市政変革推進室と協議した上、検討状況を1月のX会議で示す予定。	
89	第4回(11月)	ブラチナ市役所プロジェクト(討議③災害対応)	早く駆け付けられるということは非常に大きなメリット。できるところからやってみて、やってみたうえでのデメリットが解決できないかどうかという取組みをしてはどうか。	現在他都市調査や、各区ヒアリング、避難所と居住地の分布調査を実施し、令和7年1月中旬に市政変革推進室と協議した上、検討状況を1月のX会議で示す予定。	
90	第4回(11月)	ブラチナ市役所プロジェクト(討議③災害対応)	危機管理は、職員がやりたい気持ちになるような精神的な負担の解決が非常に大事。	現在他都市調査や、各区ヒアリング、避難所と居住地の分布調査を実施し、令和7年1月中旬に市政変革推進室と協議した上、検討状況を1月のX会議で示す予定。	
91	第4回(11月)	ブラチナ市役所プロジェクト(討議③災害対応)	災害対応の時は、距離によって危険もリスクも増えるので、居住地に近い人がやる良いメリットはある。できることもあるのでやっていく。課題もあるが、色々なやり方があると思うので、すべて検討し、対処していくべき。	現在他都市調査や、各区ヒアリング、避難所と居住地の分布調査を実施し、令和7年1月中旬に市政変革推進室と協議した上、検討状況を1月のX会議で示す予定。	
92	第4回(11月)	ブラチナ市役所プロジェクト(討議③災害対応)	避難所のエリアの中に職員の住所をプロットして、濃淡がどのくらいしているのか一回把握してみること。その上で、指揮命令系統や、薄いところをどうしていくかを分けて考えてはどうか。	現在他都市調査や、各区ヒアリング、避難所と居住地の分布調査を実施し、令和7年1月中旬に市政変革推進室と協議した上、検討状況を1月のX会議で示す予定。	
93	第4回(11月)	ブラチナ市役所プロジェクト(討議③災害対応)	災害対応はものすごく大きな問題なので、最適化をどうするか真剣に考えてもらいたい。しっかり時間軸を切って、明確に検討を進めてもらいたい。	現在他都市調査や、各区ヒアリング、避難所と居住地の分布調査を実施し、令和7年1月中旬に市政変革推進室と協議した上、検討状況を1月のX会議で示す予定。	
94	第4回(11月)	スポーツ振興事業	まちなかでのアーバンスポーツ実施における道路など、他部署と協力しながら進めてほしい。	経営分析「スポーツ振興事業」で検討中(令和6年度末まで)	
95	第4回(11月)	スポーツ振興事業	今後のスポーツ行政の中におけるアーバンスポーツの取り組みの位置づけがよくわからない。スケール感、数字、投資、リターンのイメージがない。	経営分析「スポーツ振興事業」で検討中(令和6年度末まで)	
96	第4回(11月)	スポーツ振興事業	もっと論理的に、北九州のスポーツのどこが優位性なのか、どこの部分に重点を置いて、今までがどうで、どこの部分に重点を置いていくのか差別化をはかる部分と、競争していく部分と、もう少しきちんと考えるべき。	経営分析「スポーツ振興事業」で検討中(令和6年度末まで)	